

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

# ワンマン拡大は安全破壊

## ジョブローテーション・社友会を打ち破ろう

8月17日、JR外房線の誉田く鎌取駅間の踏切で軽自動車（軽自動車）が踏切内に入り、列車後方に衝突しました。けが人は出なかったものの運行は停止し、乗客は線路を歩いていくことになりました。

### 車掌削減は安全放棄そのもの

会社はワンマン運転の拡大提案において、3〜6両の中編成はホームモニターをつければ導入できるとしています。

しかし、今回のように列車後方への衝突の場合、運転士だけでは衝突に気づかないことも考えられます。運行を続けられれば、さらなる事故につながりかねません。

車掌が後方の安全確認を担当して鉄道の安全を守っているのです。千葉では8月6日にも総武本線で踏切事故が発生しています。獣との衝突事故も多発しています。安全を確認できるまで乗



軽自動車を運転していた男性(84)と電車の乗客・乗員にけがなし

車掌が後方の安全確認を担当して鉄道の安全を守っているのです。千葉では8月6日にも総武本線で踏切事故が発生しています。獣との衝突事故も多発しています。安全を確認できるまで乗

客を線路上に降ろすことはできません。

指令とのやり取りや乗客の案内・誘導など、事故対応をすべて運転士一人だけで安全を守り続けるなどできません。ワンマン運転拡大・車掌削減は鉄道の安全放棄そのものです。

### 社友会ではなく闘う労働組合を

会社は無制限なワンマン運転拡大で車掌の大幅削減を狙っています。それをテコに現場労働者の団結を破壊しようとしています。

ジョブローテーション提案―運転士・車掌の職名廃止と「最大10年で異動」の次には間違いなく乗務手当廃止が準備されています。

\*

しかし、現場から怒りの反乱が起これば、攻撃はストップせざるを得ません。職場に闘う団結と労働組合がある限り、会社の攻撃は常に矛盾を吹き出し続けるからです。

社友会はまさにそのための組織です。安全が破壊されても、仲間の生活と雇用が奪われても、声一つあげさせないための組織です。

社友会にだけは入ってはいけません。職場に必要なのは闘う労働組合です。